						. —			
講義名	データ分析特論				授業形態	その他			
		88±##0 n33 m n±75	前期 月曜日 3 時	8		ブリ	リントを配布する。		
担当教員	澤田 清/平越 裕之	開調期・唯口・時間	削期 月曜日 3 時	IX					
		単位数 2 履	多開始年次 1年生	ナンバリング		1			
題と概要			•		•	i			
	与えられたデータを元に論理的かつ数理的な意思決定を行なうた	めの基本概念をいくつか解記	し,Excelを用いた問題演	習により , その応用力習得を	目指す。具体的には,前半でデータのま	授業計			
本集構では、与えられたデータを元に論理的かり教理的な意思決定を行なうための基本概念をいくつか解説し、Excelを用いた問題演習により,その応用力習得を目指す。具体的には,前半でデータのま とめ方と多理機がの基極を、使きては在電管理問題を終う。 データのまとめ方では一種様のデータの特性を表すための方法を、多型量解析の基礎では一種類以上のデータの重との方法を学ぶ。 に確認問題とは「風俗を提供するときに、い」ことれだけの量の商品を用意するのがを決定する問題をある。在庫管理の考え方を学び、Excelを用いたシミュレーションによって代表的な在庫管理の方						1.デー 予盟	今分析特論で学ぶこと。授業を受けるにあたっての注意点など(担当:澤田) :・シラハスを確認し、授業に備える(60分) :・シラハスを確認し、授業に備える(60分) :・シラルスを確認し、授業に備える(60分) :・ショルスを確認し、授業に備える(60分) :・ショルスを確認し、授業に備える(60分) :・お自己などの授業内容(ブリントなど)を確認し、規業に備える(60分) :・お自己などの授業内容(ブリントなど)を確認し、規業に借える(60分) ・ は自己などの授業内容(ブリントなど)を確認し、規業に借える(60分) ・ お自己などの関係を持ち、アントなど)を確認し、理解を深める(190分) 分布(日温:澤田) :・今回の授業内容(ブリントなど)を確認し、理解を深める(190分) :・今回の授業内容(ブリントなど)を確認し、理解を深める(190分) ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
法の特徴や有効的	こは、向面を提供することに、いり、これにけい量の向面を用意 性を確認する。	(9 ののかを)大圧9 の问題 (8	る。任庫官珪の与え方を子	O, EXCELEMENTE SELECT	一クヨクによりて10枚的な仕庫自注の方	復習 2.度数	音:今回の授業内谷(ブリントなど)を復留し、埋鮮を深める(180分) 效分布表,ヒストグラム(担当:澤田) 8:前向までの授業内容(ブリントなど)を確認し、授業に借える(60分)		
						復習	音: 計画はない現実的は、ファントは、アンドは、ロンドは、ロンドは、ロンドは、ロンドは、ロンドは、ロンドは、ロンドは、ロ		
						予2 復2 4 元#	音:前回までの授業内容(ブリントなど)を確認し、授業に備える(60分) 音へのの授業内容(ブリントなど)を復習し、理解を深める(180分) 音へ女(40米・2月)		
						* 予留 復習	警:前向課司・授業内容(ブリントなど)を確認し、授業に備える(60分) 習:今回の授業内容(ブリントなど)を復習し、理解を深める(180分)		
						5.散在	5図と回帰直線(担当:澤田) 書:前回までの授業内容(ブリントなど)を確認し、授業に備える(60分) B:今回の郷帯内容(ブリントなど)を確認し、授業に備える(60分)		
						6.相関	引係数(担当: 澤田) 富:前回までの授業内容(ブリントなど)を確認し、授業に備える(60分)		
連目標 (ハデータのキとめちと名亦是蛇折の其雄では、Swelを用して一種報をとが「種類ととのデータかこ」その核性や関連性などが悪力体報を取り出すことができるとうになる					うにかる	- 復習 7.重回	音:今回の授業内容(ブリントなど)を復習し、理解を深める(180分) 同帰分析(その1)(担当:澤田) 8・前向までの柳葉内変(ブリントなど)を確認し、柳葉に借える(60分)		
(1)データのまとめ方と多変量解析の基礎では、Excelを用いて一種類および二種類以上のデータから、その特性や関連性など必要な情報を取り出すことができるようになる。 (2)在車管理問題においては、Excelの機能で在庫の変動などを十分に表現でき、それをもとに問題をンミュレートできるようになる。					,) ic. a. a.	復習 8.重回	音: 今回の授業内容(ブリントなど)を復習し、理解を深める(180分) 列帰分析(その2)(担当: 澤田)		
						予覧	冒:前回までの授業内容(ブリントなど)を確認し、授業に備える(60分) 冒:今回の授業内容(ブリントなど)を復習し、理解を深める(180分) ミュレニション強限に必要な50×01機能・機体の強限(20世・20時)		
						10.シ	複響:受講した演習繰り返し復讐することで重要な点を確実に理解する(4時間) ミュレーション入門(基本)(担当:平越)		
						11 37	た省: 期回までの演習をもう一度再確認しておく(1時間) 度智:受講した演習繰り返し復習することで重要な点を確実に理解する(3時間) ミュレーション入門(パリエーション)(担当:平は)		
						子	11.ソニュレーソョンハワ(ハリエーション) (担当: 半駆)		
						12.新	・		
						13.在	経営:受損した演習線)返し複雑することで重要な点を確実に理解する(3時間) 庫電報問題(定角発達)(担当: 再線) 「密: 前即までの演習をもう一度再確認しておく(1時間) 層は表現した演習線)返し復習することで重要を点を確実に理解する(3時間) 層は報問題(定期発注)(担当: 平柱) (日: 前即までの展落をもう一度用機能しておく(1時間) 展現実用となった演習を対し、他目することで重要な点を確実に理解する(3時間) 展現実用問題所		
出課題	演習課題を課す。					14.在	長智:受講した演習繰り返し侵営することで重要な点を確実に埋解する(3時間) 庫管理問題(定期発注)(担当:平越) 6翌:前回までの演習をもう一度重確認しておく(1時間)		
##INTEXCEL CO.	/典音味道で味り。					15.在	優書:受講した演響操り返し復讐することで重要な点を確実に理解する(3時間) 庫管理問題演習		
						- 1	犀筒球門の球飛筒 管置・前回までの全ての演習をもう一度再確認しておく(1時間) 度置:受講した演習繰り返し復習することで重要な点を確実に理解する(3時間)		
題(レポー)	トや小テスト等)に対するフィードバックの方法					1 📖			
	ートについての解説などを必要に応じて行う。					授業形	/ 態(アクティブ・ラーニング)		
						l ⊢	ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) エ:グループワーク	
						l⊢	オ:ブレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク	
							オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)		
							オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 2定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	カ: 実習、フィールドワーク	
₽価の基準							オ: プレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	カ: 実習、フィールドワーク	
	な参加度20%,提出課題及びレポート課題80%で評価する。						オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 2定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	カ: 実習、フィールドワーク	
	な参加度20%,提出課題及びレポート課題80%で評価する。						オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 2定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	カ: 実習、フィールドワーク	
	な参加度20%,提出課題及びレポート課題80%で評価する。						オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 2定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	カ: 実習、フィールドワーク	
	な参加度20%,提出課題及びレポート課題80%で評価する。						オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 2定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	カ: 実習、フィールドワーク	
	な参加度20%,提出課題及びレポート課題80%で評価する。						オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 2定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	カ: 実習、フィールドワーク	
	な参加度20%,提出課題及びレポート課題80%で評価する。						オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 2定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	カ: 実習、フィールドワーク	
	な参加度20%,提出課題及びレポート課題80%で評価する。						オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 2定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発						到过	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 3定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 書目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発が	な参加度20%,提出課題及びレポート課題80%で評価する。 での注意・助害他 習は提出演習課題以外にも出題するので,パソコン操作,特に	fordとExcel の操作ができる。	とが必要である。			到过	オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 2定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発が	ての注意・助言他	lordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			到过	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 3定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 書目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発が	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			到过	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 3定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 書目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発が	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			到过	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 3定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 書目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発が	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			到过	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 3定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 書目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発が	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			双方向	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 3定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 書目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発が	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			双方向	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 適目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発が	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			双方向	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 適目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発・ 理修にあたつう Excelによる演	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			双方向	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 適目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発が	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			双方向	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 適目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発・ で を に あたって を xcelによる演 使用しない.	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			双方向	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 適目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発・ 諸修にあたって Excelによる演 使用しない. ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			双方向	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 適目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発・ で を に あたって を xcelによる演 使用しない.	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			双方向	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 適目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	
講義への活発・ 諸修にあたって Excelによる演 使用しない. ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ての注意・助言他	iordとExcelの操作ができるこ	とが必要である。			双方向	オ:プレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) 認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 適目標(1)、(2)を達成することで、DPの理論的・実証的な課題を研究するための科学的方法論の基	カ: 実習、フィールドワーク	